

## **(仮称) 西東京市総合戦略 (案)**

# 目次

I	はじめに.....	1
	<総合戦略について> .....	1
	<総合戦略の位置づけ> .....	2
	<計画期間> .....	2
II	データから見る本市の特徴と課題.....	3
	1. 特徴.....	3
	2. 課題認識 .....	6
III	戦略のめざすところ.....	8
	1. 戦略の基軸.....	8
	2. 推進にあたっての方向性.....	8
	<基本目標体系> .....	10
IV	基本目標 .....	11
V	戦略推進のための共通の視点 .....	17
VI	評価の考え方.....	18

# I はじめに

## ＜総合戦略について＞

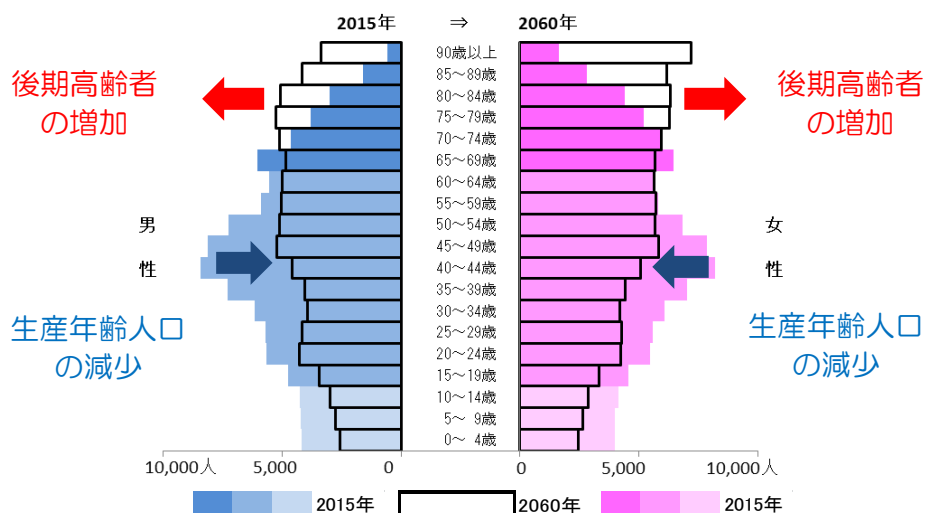
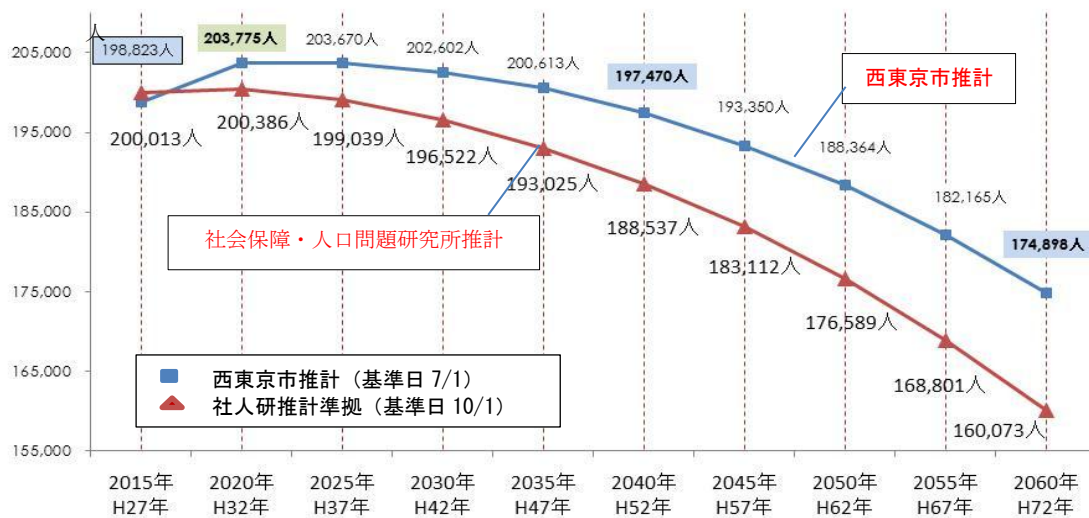
西東京市総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国が示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方をもとに、西東京市の実情に応じて策定するものです。

また、平成 72（2060）年を推計期間として並行して策定する「（仮称）西東京市人口ビジョン」における、本市の人口の現状と将来展望等を踏まえて、今後 5 か年（2015～2019 年）の基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策、評価指標などを設定します。

本市の人口の状況を見ると、今後も増加が予測されていますが、平成 32（2020）年の約 20 万 4 千人をピークとして緩やかに減少を始め、25 年後の平成 52（2040）年には現在人口と近似値である約 19 万 7 千人に、45 年後の平成 72（2060）年には約 17 万 5 千人と予測されています。また、人口構造は着実に変化し、平成 72（2060）年の 75 歳以上（後期高齢者）の人口は、平成 27（2015）年と比べると 2 倍近くになります。

### 本市の人口推移（将来推計）と人口ピラミッドの変化

（西東京市人口ビジョン（平成 27（2015）年 11 月推計）



## <総合戦略の位置づけ>

『西東京市第2次基本構想・基本計画』は、平成35（2023）年度を目標年次（計画期間）として、西東京市のめざすべき将来像を描き、まちづくりを一步前に進めるための長期計画であり、国が策定した長期ビジョン及び総合戦略と同様の方向となっています。

そのため、本市の総合戦略は、上位計画となる第2次総合計画で定めた6つのまちづくりの方向のうち、国の示す4つの基本目標と対応する、「創造性の育つまちづくり」、「笑顔で暮らすまちづくり」、「安全で快適に暮らすまちづくり」、「活力と魅力あるまちづくり」の4つの方向を、計画的かつ効果的に推進するための「戦略プラン（アクションプラン）」と位置付けるとともに、「西東京市人口ビジョン」で示す、平成72（2060）年を見据えた将来のまちづくりのための戦略としてとりまとめるものです。



### ◇国の総合戦略と西東京市第2次総合計画および本市の総合戦略の関係性

国の総合戦略 基本目標	西東京市第2次総合計画 (まちづくりの方向)	西東京市総合戦略 基本目標
①地方における安定した雇用を創出する	活力と魅力あるまちづくり	○地域に根ざした産業が育ち、まちの活力を伸ばす
②地方への新しい人の流れをつくる	創造性の育つまちづくり	○次の世代が将来を描ける
③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	笑顔で暮らすまちづくり 安全で快適に暮らすまちづくり 活力と魅力あるまちづくり	○健康・安心・いきいきと暮らす ○まちを楽しみ、まちの良さを高める

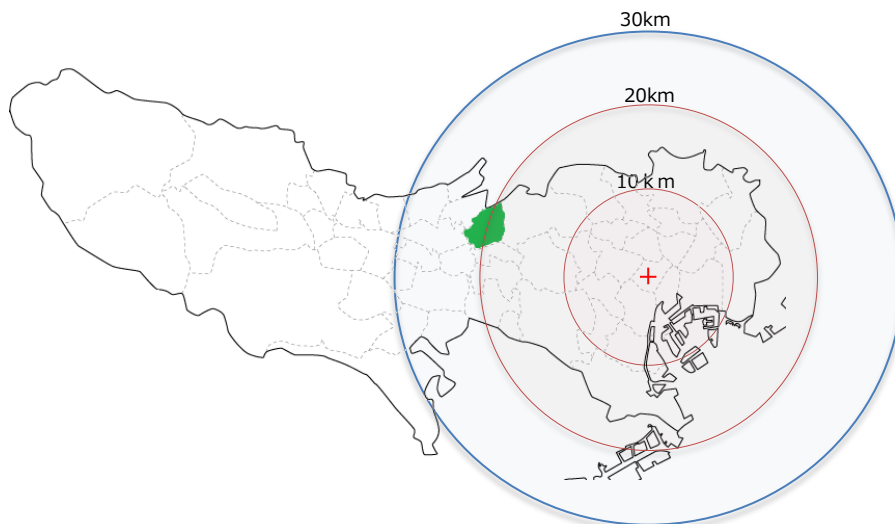
## <計画期間>

総合戦略の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とします。

## II データから見る本市の特徴と課題

総合戦略策定にあたり、本市の地域特性を分析するため、都心から 20 km 圏の同心円上の都市（23 区と隣接する 5 市〔武蔵野市・三鷹市・調布市・狛江市・西東京市〕、以下「区部隣接 5 市」という。）と、通勤・通学などに利用する鉄道沿線の人の流れおよび転入・転出などの傾向に着目した場合の都市（多摩北部都市広域行政圏を構成する 5 市〔小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市〕、以下「北多摩 5 市」という。）を基本として比較しています。

また、本市が実施した市民意識調査や転入・転出における意識調査、近隣市在住者・若者への Web アンケートなどの各種調査結果等から西東京市の主な特徴と課題についてまとめています。



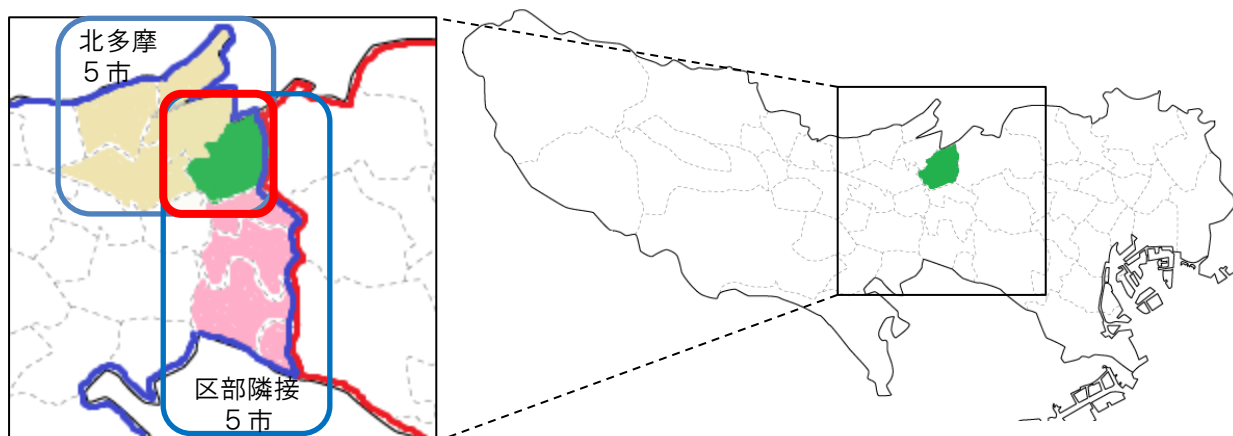
### 1. 特徴

#### （1）都心部へのアクセスの利便性と郊外の居心地の良さを享受できるまち

区部隣接 5 市は、都心から 20 km 圏で区部に隣接し、副都心エリアまでの移動時間が 15 分～20 分程度となっており、日常生活における就業や買い物などに便利で、移動のほかに、商業面や教育・学習環境の面で同じような特性を有しています。

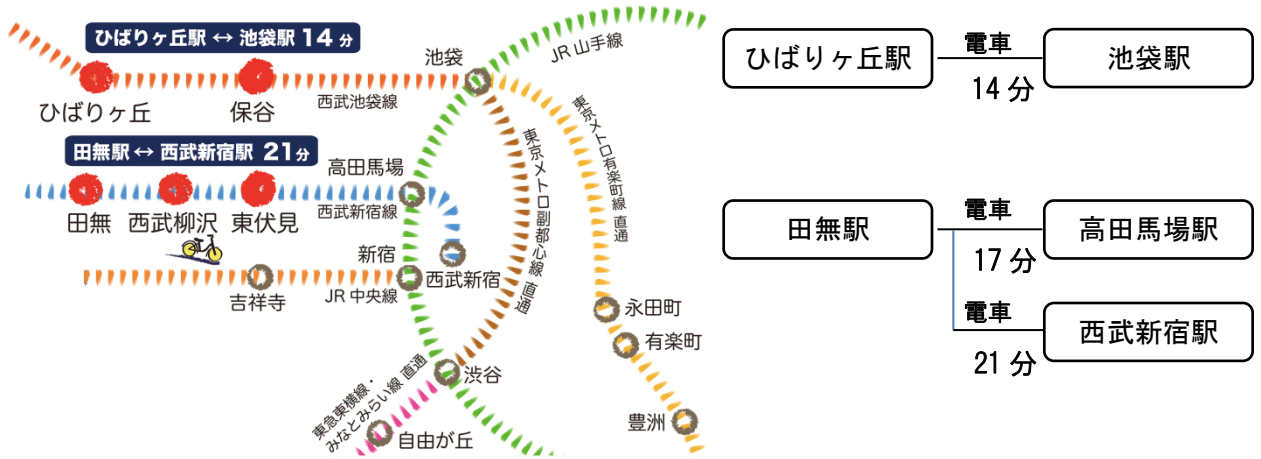
一方で、北多摩 5 市は、みどりや自然といった面で同じような特性を有しており、安らぎを感じることのできる良好な空間を備えています。

西東京市は、区部隣接 5 市と北多摩 5 市の両方の特性（良さ）を享受できるまちです。



## (2) コンパクトでアクセス性の良いまち

本市は、面積 15.75 平方キロメートルで地形はほぼ平坦、面積は小さいながらも鉄道が 2 路線 5 駅あり、市域の約 8 割の地域は駅まで徒歩 20 分圏内となっています。また、鉄道だけではなく主要幹線道路が発達し、バス便の充実や近隣へのアクセスに恵まれており、「行動や活動がしやすいまち」としてのポテンシャルを有しています。



## (3) 多世代が居住するまち

人口規模は約 20 万人で将来の人口減少率も比較的緩やかに推移することが予測されています。人口密度では多摩地区で武蔵野市に次いで 2 位となっています。持ち家比率は 61%と区部隣接 5 市の中では最も高く、ファミリー世帯が多く居住しています。

人口規模 約 20 万人	人口構造 多世代が居住	人口密度 2 位 多摩 26 市	世帯 ファミリー多い
持ち家比率 61%	公示地価平均額 (住宅地) 8 位 多摩 26 市	1 住宅当たり居住 室数 3.8 室	1 住宅当たり延べ 面積 71.89 m <sup>2</sup>

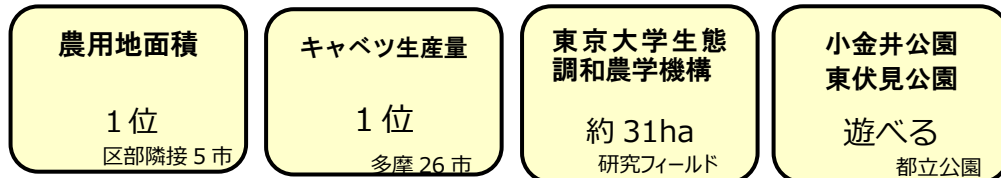
## (4) 働く市民の半分が都心に通勤するまち

本市は区部隣接 5 市と同様に一定の産業集積もありますが、働いている市民の約半数は 23 区へ通勤しています。従事している産業では、第 3 次産業の割合が高く、23 区と同程度となっています。

事業所数 1 位 北多摩 5 市	年間商品販売額 2 位 北多摩 5 市	働いている市民 半数は 23 区へ	第 3 次産業割合 23 区並み
------------------------	---------------------------	----------------------	---------------------

### (5) 農やみどりのフィールドがあるまち

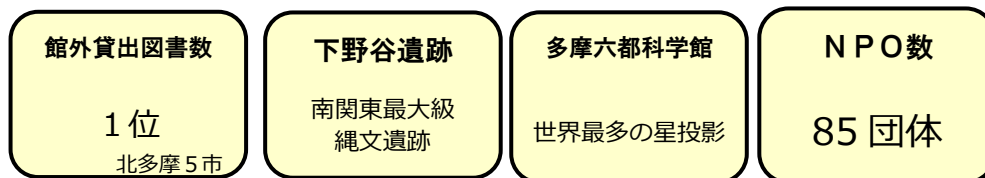
市内には都市農業の魅力が多く潜在しており、農地がある街並みはみどりの空間として安らぎをもたらすとともに、身近にある直売所は安全・安心な食のめぐみの提供元として、重要な地域資源となっています。また、東大生態調和農学機構などの研究フィールドや都立公園など、大規模なみどりのフィールドがあります。



### (6) 魅力的な学習環境や市民文化が息づくまち

市内の教育・学習環境面の学校数・児童生徒数、図書館蔵書数、社会教育事業数などは区部隣接5市と同程度となっており、館外貸出図書数や社会教育事業数などは、北多摩5市で上位となっています。

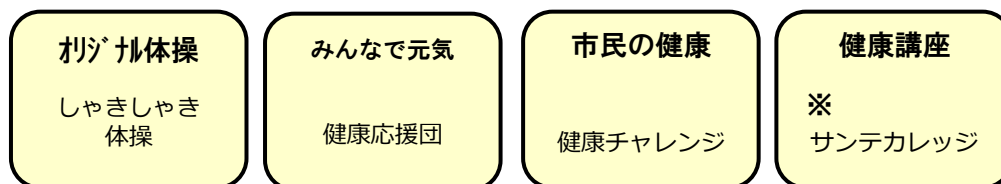
また、市内には南関東最大級の縄文時代の大集落「下野谷遺跡」や世界最多の星が投影できるプラネタリウムを持つ「多摩六都科学館」などの学習環境や、さまざまな分野で活動する団体が多数あり、学習活動や地域活動が活発に展開されています。



### (7) 健康都市宣言のまち

本市は平成23年に健康都市宣言を行い、平成26年にはWHO（世界保健機関）が提唱する「健康都市連合」に加盟しました。加盟しているのは、2014年7月現在で10か国から152都市45団体、日本からは41都市3団体で、多摩地域の自治体として初めての加盟となります。

保健、医療、福祉、教育の分野の関係団体や地域グループとの連携により、特色ある取組を進めています。



「西東京市サンテカレッジ」は、健康に関する各種講座を実生活に即した幅広い分野から学べるよう、さまざまなコースを設定し、市民の皆様にご案内するものです。（※「サンテ」とは、仏語で「健康」の意味です。）事例）・健診を受けたあとのからだ元気講座（運動編）

## 2. 課題認識

### (1) 人口は増加した後に緩やかに減少に転じ、後期高齢者の割合は増大

本市の人口は増加していますが、将来人口は平成 32（2020）年をピークとして緩やかに減少を始める予測となっています。また、後期高齢者の割合は平成 27（2015）年に対して 2 倍近くに増大します。

今後の各施策における事業展開においては、中長期的な視点に立って人口減少や人口構造の変化の影響を捉えた上で対応していく必要があります。

### (2) だれもが健康でいきいきと暮らせる社会の構築

今後予測される少子高齢化の進展は、生産年齢人口の減少による地域活力の低下や地域のコミュニティの衰退などを招き、市民の活動領域の縮小による人々の健康への影響が懸念されています。そのため、多世代にわたり心身ともに健康でいきいきと暮らせる環境づくりとして、行政が実施する全ての施策において健康の視点を取り入れ、市民の健康を確保する取組が重要となります。これまで、関係団体や地域のさまざまなグループとの連携による多様な取組を進めていますが、このような取組を発展させつつ、市民一人ひとりの健康水準を向上させていく必要があります。

### (3) 若い世代の結婚・出産・子育て期におけるギャップと転出超過

**(出生率)** 平成 23（2011）年度以降の北多摩 5 市では、小平市、清瀬市、東久留米市の合計特殊出生率が上昇する中で、本市は、おおむね横ばいとなっています。要因の 1 つとしては、本市の 25～34 歳の女性の未婚率が全国水準よりも高いことや、子ども 2 人以上世帯の割合が北多摩 5 市の中では低いことがあげられます。一方で、本市の 18～39 歳女性の結婚意向や希望出生率は全国水準より高くなっています。

**(若い世代の転出超過)** 本市の 25～39 歳の若年層については、都心（新宿区、世田谷区等）や北多摩 5 市（小平市、東久留米市等）への転出超過の傾向となっています。一方で、未婚者を対象とした市民意識調査結果では、「結婚して西東京市に住みたい」と考えている 18 歳～29 歳の割合は 26.0%ですが、「子どもができたら西東京市に住みたい」と考えている 18 歳～29 歳の割合は 30.9%で、更に 30 歳～39 歳の割合では 50.7%と半数を超えています。

### (4) 高齢者の生活環境への対応

本市の高齢化率は、現在の 23%から平成 72（2060）年には 37%となる予測で、後期高齢者も現在の約 2 倍に達する予測となっています。市民意識調査結果における「今後の生活にとっての重要度」では、他の世代に比べ 60 歳以上の高齢者は、「地元の商店街」のポイントが高くなっています。また、一方で「買い物の利便性」については、全世代においてポイントが高くなっています。市内小売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額が減少傾向にあるなかで、買い物の利便性の向上策が求められています。



## (5) 市内産業の活性化

本市の事業所数・従業者数は、北多摩5市では最も多く、区部隣接5市と肩を並べる水準にあるなど、産業の集積地としての一面もあわせ持っています。しかし、商店の廃業等による空き店舗の増加や大規模工場の撤退、縮小がみられます。また、農家数や農地面積も年々減少しており、市内産業を取り巻く状況は厳しくなっています。

そのため、地域に根差した産業の振興や起業の促進など、地域の実情に沿った地域産業の活性化が求められています。

## (6) まちのイメージの向上

本市を除く都民と西武線沿線の埼玉県民を対象として、本年、本市が実施した Web 調査の結果では、東京都や埼玉県内東京都近郊都市における西東京市の認知率は 96.1%となっています。また、「名前だけでなく、まちの特徴まで知っている」と回答した割合は、練馬区を除く 23 区や東京都その他の市町村、埼玉県内東京都近郊都市では低く、この傾向は小平市、東久留米市で同様となっています。

一方で、想起される本市のイメージは、まちの利便性やみどりにかかわる事項が中心で、「歴史・伝統」、「祭・イベント」については、練馬区・武蔵野市・三鷹市・東久留米市・小平市・所沢市に比べ低くなっています。また、住民のまちへの愛着度が高い武蔵野市、三鷹市などと比較すると、「まちなみや景観、雰囲気が良い」「まちに個性がある」「文化・芸術・音楽を鑑賞できる」などの項目で差があり、本市の魅力に対する認知は低い状況となっています。『住み続けたいまち』、『住みたいまち』としての価値を高めるため、「見のがされている」良さを市内・市外に向けて広く伝える取組が必要となります。

## (7) 財政の硬直化への対応

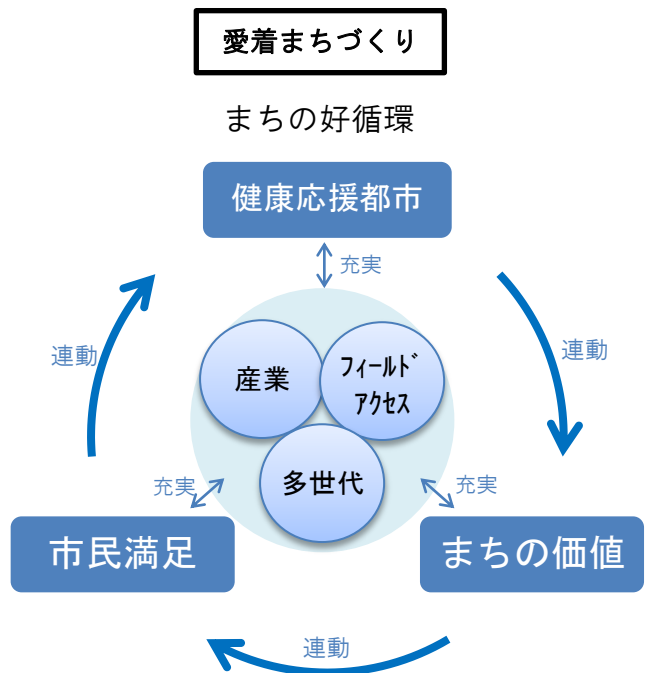
本市の市税収入額は 5 年連続で増加してきており、平成 26 (2014) 年度には過去最高となったものの、財政力指数では多摩 26 市中 17 位 (平成 27 年度財政力指数 0.888) に留まっており、経常収支比率が高く、新たな市民ニーズ (行政需要) に対応する余力が少ない状態にあります。その中で、公共施設等の更新や維持管理、業務の改善等が大きな課題となっており、行財政改革をこれまで以上に推進させる必要があります。

### Ⅲ 戦略のめざすところ

#### 1. 戦略の基軸

本市は、第2次基本構想で掲げた「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」という基本理念の実現に向けて、「みんなの輝きを次世代につなぐまちづくり」を進めています。将来にわたって、「住み続けたいまち」、「住みたいまち」として選択され続けるためには、市民一人ひとりのこころやからだの健康はもとより、まちそのものが「健康」であることを達成するための『健康応援都市※』の実現をめざします。

また、『健康応援都市』の実現を進めつつ、市の持つ良さ（＝ポテンシャル）を活かし、まちの「価値」を高めることによって「市民満足」（今住んでいる市民が自分たちのまちに対して満足すること）が向上するという、好循環を生み出していきます。



#### 『健康応援都市』の実現



#### 『愛着』まちづくり



『住み続けたいまち』、『住みたいまち』としての価値を高める

※ 西東京市のめざす「健康応援都市」は、WHOの健康都市連合憲章の考え方を踏まえ、人々が互いに助け合い、生活のあらゆる局面で最高の状態（まちそのものが「健康」であること）を達成するため、その実現に向けて、保健医療・社会経済・居住環境などの様々な分野の改善を進めるとともに、地域・住民が互いに支え合う（応援する）まちです。

#### 2. 推進にあたっての方向性

健康応援都市の実現を進め、まちの価値を高めるとともに、市民満足を向上させるために、3つの方向性に基づいた取組を設定します。

##### ① 多世代の活力をいかして、まちの健康を応援する

###### （若い世代のライフコースの変化に対応する）

結婚や出産を機とした若い世代のライフコースの変化によって生じる様々な課題に対応し、次の世代が将来を描けるようにします。

###### （健康増進、健康寿命の延伸に取り組む）

多世代にわたり一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと暮らすことができるよう、保健医療・社会経済・居住環境などの様々な分野の改善を進める。

###### （安全・安心、いきいきと活躍できる）

安全・安心に暮らせる環境を整え、高齢期を迎えても、これまでの知識や経験をいかし、活躍できるまちづくりを進めます。

##### ② 産業を活性化させて、まちの魅力を高める

まちの魅力や活力源としての産業集積を維持しつつ、若者や女性の新たな発想による起業意欲をいかにするよう、地域に根差した産業の育成を進めます。

③ 地理的特性（フィールドやアクセスの価値）をいかして、まちの活気を高める

**（アクセスの良さを活かす）**

「外出しやすい・立ち寄りしやすい」といった魅力を「まちの価値」として PR するとともに、行政サービスへのアクセシビリティなどもあわせた「アクセスの良さ」をまち全体のイメージとしていかします。

**（地域資源を活かす）**

本市の魅力として存在する地域資源（ヒト・モノ・コト）をいかし、まちの良さを高めます。

## <基本目標体系>

# 健康応援都市の実現に向けて

多世代の活力  
をいかして、まち  
の健康を応援  
する

### 1 健康・安心・いきいきと暮らす

- 1-1 次の世代の結婚・出産・子育ての応援
- 1-2 女性や子育て世代が輝く環境づくり
- 1-3 いつまでも健康で元気に暮らす
- 1-4 安全・安心をみんなでサポート
- 1-5 少子高齢化社会の到来に対応した地域づくり

産業を活性化  
させて、まちの  
魅力を高める

### 2 地域に根ざした産業が育ち、まちの活力を伸ばす

- 2-1 「やる気・勇気」魅力ある新産業の育成
- 2-2 「やる気・元気」地域に根ざした産業の振興

地理的特性を  
いかして、まちの  
活気を高める

### 3 まちを楽しみ、まちの良さを高める

- 3-1 いいね！と評価できる魅力づくりと情報発信
- 3-2 ほっ！と安らげるみどりのまちづくり
- 3-3 ぱっ！とどこにでも行けるまちを満喫する

## IV 基本目標

### 基本目標 1 健康・安心・いきいきと暮らす

#### ■ 基本的方向

##### <方向性>

- すべての子育て家庭が地域で安心して産み育てられる環境づくりを実現するため、結婚・出産・子育て期における支援の充実や、子どもたちが健やかに成長できる環境や居場所づくりを進めます。
- 子育て世代の負担軽減や生活における調和（ワーク・ライフ・バランス）を図るための意識啓発などを行います。
- 特別な支援を必要とする子どもや家庭のための支援を進めます。
- 住み慣れた地域で、いつまでも健康で心身ともに自立した生活を送ることのできる体制づくりを進めます。
- 安心して快適に暮らし、多世代が交流し支え合うまちづくりを進めます。
- 少子高齢化社会の到来に対応した行政サービスの提供方法などの検討を進めます。

#### ■ 数値目標

指標名	現状値（H26年）	目標値（H31年）
	検討・調整	

#### ■ 具体的な施策・事業

対策内容							
1-1	<p>次の世代の結婚・出産・子育ての応援</p> <p>&lt;施策の方向性と KPI&gt; 結婚・出産・子育て期における切れ目のない支援や待機児童対策、子育て家庭への情報発信の強化や子どもの居場所づくりなどを推進させ、安心して産み育てられる環境づくりを実現します。</p> <p>重要業績評価指標(KPI)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値（H26）</th> <th>目標値（H31）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">事業確定後検討・調整</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;事業展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 妊娠期からの切れ目のない支援事業の推進（子育て世代包括支援センター設置に向けた調査・研究含む）</li> <li>* 婚活・出会いイベント等の開催（婚活の支援）</li> <li>* 健康情報普及サイトの充実（子育て家庭への情報提供の充実）</li> <li>* 身近にボール遊びのできる場所の検討</li> <li>* 待機児童対策の推進</li> <li>* 幼稚園の預かり保育の充実</li> <li>* 幼稚園の特別支援教育に対する支援</li> <li>* 放課後子ども総合プランに基づく居場所の検討</li> <li>* サマーステイ事業の検討</li> <li>* 児童館ランチタイム事業の検討</li> </ul>	指標名	現状値（H26）	目標値（H31）		事業確定後検討・調整	
指標名	現状値（H26）	目標値（H31）					
	事業確定後検討・調整						

## 1-2 女性や子育て世代が輝く環境づくり

### <施策の方向性と KPI>

子育て期の一時的な養育困難状況に対応するためのサポート体制の充実を図るとともに、子育てに関する学習の機会や親子で一緒に参加し学べる機会の提供、男女ともに仕事と家庭を両立しながら、安心して働ける環境づくりを支援します。

#### 重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値(H26)	目標値(H31)
事業確定後検討・調整		

### <事業展開>

- \* 親子で学べる場づくりの検討
- \* 子育てに関する学習機会の充実（親子参加型・保育つき）
- \* 一時保育、ファミリーサポートセンターの充実
- \* 病児・病後児保育事業の運営
- \* ワーク・ライフ・バランスを事業者へ普及する方策の検討

## 1-3 いつまでも健康で元気に暮らす

### <施策の方向性と KPI>

健康づくりへの関心の高まりに応えつつ、市内で暮らす人が住み慣れた地域で、生涯を通じて健康で心身ともに自立した生活を送ることができるよう、民間企業や団体、研究機関等と連携しながら『健康応援都市』としての「つながり」を充実させます。高齢者の生活利便性の維持を

#### 重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値(H26)	目標値(H31)
事業確定後検討・調整		

### <事業展開>

- \* 健康応援団の推進
- \* 介護支援ボランティアポイント制度の実施
- \* 食の改善と健康づくり（民間企業との連携）
- \* 健康寿命の向上に向けた取組（大学との連携）
- \* 買い物弱者への支援の検討（高齢者・障害者など）

1-4 安全・安心をみんなでサポート

<施策の方向性と KPI>

だれもが安全で安心して暮らすことができるよう、市民相互の支え合いや見守り機能の強化、地域との連携を充実させます。

重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値(H26)	目標値(H31)
事業確定後検討・調整		

<事業展開>

- \* 地域ぐるみの安全体制づくりの推進
- \* 学校避難所運営協議会の充実
- \* ほっとするまちネットワークシステムの推進
- \* 市報等の配布を活用した見守りについての調査・研究
- \* 地域児童対策機能の強化（要保護児童対策地域協議会の充実）

1-5 少子高齢化社会の到来に対応した地域づくり

<施策の方向性と KPI>

多世代が地域で安心して暮らすことができるよう、包括的な地域福祉の支援体制づくりを進めます。また、地域間の連携によるコミュニティ機能の充実をすすめるとともに、少子高齢化社会の到来に対応したコンパクトかつサステナブルなまちづくりを行います。

重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値(H26)	目標値(H31)
事業確定後検討・調整		

<事業展開>

- \* 地域包括ケアシステムの構築に向けた検討（地域医療・福祉・住まい）
- \* 地域医療福祉拠点モデル事業の検討
- \* 地域居宅支援事業の検討
- \* 地域コミュニティ推進事業の充実
- \* 少子高齢化時代における行政サービスの有り方についての調査・研究

## 基本目標 2 地域に根ざした産業が育ち、まちの活力を伸ばす

### ■ 基本的方向

- 都心へのアクセスの良さや産業集積の高さをいし、起業・創業を希望する人々を応援します。
- 女性の働き方サポートに取り組みます。
- 産業や農業の活性化を進め、地域に根差した産業の振興を図ります。

### ■ 数値目標

指標名	現状値 (H26 年)	目標値 (H31 年)
	検討・調整	

### ■ 具体的な施策・事業

対策内容											
2-1	<p>「やる気・勇気」魅力ある新産業の育成</p> <p>&lt;施策の方向性と KPI&gt;                      都心へのアクセスの良さや産業集積の高さなどを活かして働き盛り世代やリタイア層の方が起業・創業しやすい環境づくりをすすめるとともに、子育て期の女性の働き方サポートを行います。</p> <p>重要業績評価指標(KPI)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値 (H26)</th> <th>目標値 (H31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">事業確定後検討・調整</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;事業展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 女性の働き方サポート推進事業の実施</li> <li>* 創業のための新たな産業拠点についての調査・研究</li> <li>* チャレンジショップ事業の実施</li> </ul>		指標名	現状値 (H26)	目標値 (H31)		事業確定後検討・調整				
指標名	現状値 (H26)	目標値 (H31)									
	事業確定後検討・調整										

2-2	<p>「やる気・元気」地域に根ざした産業の振興</p> <p>&lt;施策の方向性と KPI&gt;                      まちの魅力の 1 つである、産業や農業の活性化を進め、地域に根差した産業の振興を図ります。また、ボランティアや市民活動団体等との連携や交流などにより、まちの賑わいの醸成に繋がっていきます。</p> <p>重要業績評価指標(KPI)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値 (H26)</th> <th>目標値 (H31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">事業確定後検討・調整</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;事業展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 一店逸品事業の推進</li> <li>* 直売所の魅力充実の検討</li> <li>* 市民農園の新しい展開、農業体験農園の推進</li> <li>* 「めぐみちゃん」メニューの推進</li> </ul>		指標名	現状値 (H26)	目標値 (H31)		事業確定後検討・調整				
指標名	現状値 (H26)	目標値 (H31)									
	事業確定後検討・調整										



## 基本目標 3 まちを楽しみ、まちの良さを高める

### ■ 基本的方向

- 多彩な特性を生かして、各地域の魅力を効果的に発信します。
- 地域資源を活用した市内のまち歩きと健康レベルの向上をつなげる取組を進めます。
- 次世代の若者が主体となって未来を描けるまちづくりに取り組みます。
- 身近なみどりを大切にして、「みどり」環境の充実を図ります。
- 市民一人ひとりが移動しやすい環境づくりを進めます。

### ■ 数値目標

指標名	現状値 (H26 年)	目標値 (H31 年)
	検討・調整	

### ■ 具体的な施策・事業

対策内容											
3-1	<p>いいね！と評価できる魅力づくりと情報発信</p> <p>&lt;施策の方向性と KPI&gt;                      地域資源を発掘・再評価しつつ、多世代に響く戦略的なプロモーションを行ないます。また、まちの魅力の向上を通じて市民満足度の向上や郷土愛の醸成を進めます。市民一人ひとりが活躍できる社会の実現をめざします。</p> <p>重要業績評価指標(KPI)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値(H26)</th> <th>目標値(H31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">事業確定後検討・調整</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;事業展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* いこいなを活用したシティプロモーション事業の推進</li> <li>* まち歩き観光の推進</li> <li>* 駅前情報発信拠点づくりの検討（まち案内・Wi-Fi の活用）</li> <li>* 西東京 PR 親善大使事業の検討</li> <li>* 市政モニタリング制度の実施</li> <li>* 市民記者クラブ事業の検討（市民による情報発信）</li> <li>* 名誉市民制度導入に向けた検討</li> <li>* 市民協働の充実、市民活動の推進に向けた調査・研究</li> <li>* シニア人材が活躍できるまちの検討</li> <li>* 中学生向けビジネス講演会の開催に向けた検討</li> <li>* まちづくり若者サミットの開催に向けた検討</li> <li>* 下野谷遺跡を活用した魅力づくり</li> <li>* 共同スポーツイベントの開催【広域連携事業】</li> </ul>	指標名	現状値(H26)	目標値(H31)		事業確定後検討・調整					
指標名	現状値(H26)	目標値(H31)									
	事業確定後検討・調整										

3-2 ほっ！と安らげるみどりのまちづくり

<施策の方向性と KPI>

まちの魅力として評価されている「みどり」を今後も身近に感じられるまちづくりを進めるとともに、「みどり」を活用したさまざまな取組を行います。

重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値(H26)	目標値(H31)
事業確定後検討・調整		

<事業展開>

- \* みどりの散策路めぐりの機能充実（親子参加・民間事業者（鉄道など）【広域連携事業】
- \* 親子で楽しむ公園機能の検討
- \* コミュニティガーデン・オープンガーデン事業の推進
- \* みどりに包まれた環境づくりの普及促進

3-3 ぱっ！とどこにでも行けるまちを満喫する

<施策の方向性と KPI>

「市内移動のしやすさ」をいかして、市民一人ひとりが気軽にまち歩きや移動ができる環境づくりを進めるとともに、まちの価値につなげるための取組を行います。

重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値(H26)	目標値(H31)
事業確定後検討・調整		

<事業展開>

- \* 高齢者などの外出の応援（休憩ベンチやみんなでランチ）
- \* 体力づくりや健康の向上のためのまち歩きの検討（ウォーキングなど）
- \* 自転車を活用したまちづくりに向けた調査・研究（専用通行帯整備・レンタサイクル）

## V 戦略推進のための共通の視点

---

### ①まち全体（行政・市民）で情報を発信

地域資源（歴史・文化、まちなかの自然、景観、農産物や商品等）やちょっとした満足感などを、さまざまなツールを用いて「いいね！」と発信し、皆で共有し、まちの魅力を高めます。

### ②市民との連携、協働

本市には、市民をはじめとして、ボランティア・市民活動団体、NPO、企業、教育機関など、さまざまな団体が活動しています。みんなの力で活力あるまちとなるよう、市民協働の機会を広げます。

### ③健全な自治体経営と連携した行政サービスの提供

将来人口や社会経済情勢の変化を的確に捉えながら、経営の視点に立った行財政運営に取り組むとともに、行政組織の連携強化などにより、地域の実情や市民ニーズに沿った柔軟で効果的な行政サービスの提供を行います。

### ④広域連携

人口減少下における市民サービスの維持向上や社会経済活動の利便性確保のため、様々な分野における周辺自治体との連携強化を進め、効率的で効果的な施策の展開を図ります。

### ⑤新しいアプローチや手法による持続可能なまちづくり

今後の事業実施においては、様々な角度からのデータ分析やこれまでとは異なる視点で事業を実施するなど、画一的な考え方や方法に留まることなく、見方やアプローチを変えて、新たな価値を創出します。

## VI 評価の考え方

西東京市総合戦略を着実に実施していくために、基本目標ごとに設定する数値目標と、施策ごとに設定する重要業績評価指標（KPI）※に対して、年度ごとに施策の実施状況及び達成状況を検証します。

検証にあたっては、外部有識者を含めた検証機関等による見直し及び改善の仕組み（PDCA サイクル）を確立します。

なお、成果を測ることを目的に定期的な調査を実施し、重要業績評価指標（KPI）を測定します。

※重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

